WEEKLY NEWS 2017 2018 週報 通算 2247回《13回》

第2640地区 和歌山東南ロータリークラブ

会 長 ： 鯨　拓也　　幹 事 ： 宇治田堅三　　会報委員長 ： 籠田　弘

ロータリー：変化をもたらす

例会日：水曜日　例会場:ﾙﾐｴｰﾙ華月殿　第 1･第 2:18:30～(夜)　第 3･第 4･第 5:12:30～(昼)
事務局 E-Mail　a-rotary@coral.cypress.ne.jp　　http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html

本日の例会
10 月 11 日(水)
18:30～華月殿

・開会点鐘 鯨会長　・ﾛｰﾀﾘｰｿﾝｸﾞ 四つのテスト　・出席報告(例会委員会)
・ニコニコ箱(寄付金)報告　・会長挨拶　・幹事報告　・委員会報告
・行事 ｸﾗﾌﾞﾌｫｰﾗﾑ 米山記念奨学会委員会 卓話『「これから」というのは大事』
2017-2018 年度 米山記念奨学生 ファン･クィン･ウィン様 (松原東 RC)
・閉会点鐘 鯨会長

先週例会報告　会場監督 塩﨑 和仁

ゲスト：第2640地区 ガバナー 岡本 浩様　ガバナー補佐 大山典男様
ビジター：和歌山東RC　大室貴一様

会長挨拶

鯨　拓也 会長

皆さん、こんばんは。
昨日、一昨日と亡き前田孝道さんを悼み、会員の皆様方にはご会葬いただきお疲れ様でございました。9月の第二例会には、元気に出席されていたように思いますが、急なことでした。皆さま御存じかもしれませんが、9月30日の寺からの通知によりますと、『9月17日夕食時にものが呑み込めなくなり、翌18日労災病院に入院、脳幹梗塞で嚥下（えんげ）を司る神経が麻痺したことが判明しました。やがて唾などが気管から肺に入ってしまう誤嚥（ごえん）を引き起こし、それをきっかけに以前からあった間質性肺炎が悪化し、9月28日未明より呼吸困難、意識不明に陥り9月29日9時32分遷化（せんげ）された。』とあります。
誠に残念な思いではありますが、故人のご冥福をお祈り申し上げたいと思います。
さて、本日はガバナー公式訪問ということで、国際ロータリー2640地区ガバナー、岡本浩さんをお迎えしています。3月12日の第一回PETSより地区研修協議会まで3回ほどお話を聞く機会がありました。
この中で、地区正常化に向け、大変な努力をしていただいているようです。後ほど、ゆっくりとお話しいただければと思います。
　また、今日は『10月の第一例会』ですので、クラブ細則第3条第1節第1項に則って『11月の第一例会において、次々年度会長、次年度理事役員の候補者を選出することを告知します。』
次々年度会長は、自薦他薦または指名委員会（鯨・中岡・土屋・平）が指名した会員。
次年度理事役員については、次々年度会長を除く自薦他薦による会員。

Rotary 和歌山東南ロータリークラブ

	ニコニコ	米山記念奨学会	ﾛｰﾀﾘｰ財団	東南育英会
累 計	782,186	270,000	222,000	37,000

出席報告			出席者	出席率
会員総数	43 名	10/4	27 名	71.05%
出席免除会員	4 名	9/20	36 名	90.00%

幹事報告

宇治田堅三 幹事

① 和歌山県より「2025 国際博覧会（EXPO）を大阪･関西に！」の案内と「日本万国博覧会委員会 会員申込書」への賛同のお願いが届いております。
（まずは地元関西が一丸となってしっかりと盛り上がりを見せることが不可欠です。そのためには誘致委員会に多くの地元団体が参画する必要があります。尚、会費等の金銭負担はございません。とのことです。）
皆様のラックに入れさせていただいておりますので、ご協力･ご加入頂けます会員様には申込書にお名前をご記入いただき、お帰りの際 事務局までお渡しください。
よろしくお願いいたします。

② 台北東南 RC 歓迎例会のご案内を先週皆様にお送りさせていただきました。
日時･場所：11 月 22 日(水) 18:30～20:30、ダイワロイネットホテル和歌山 4F
大勢の皆様で台北東南 RC の皆様をお出迎えしたいと存じます。会員皆様、配偶者様のご出席、よろしくお願い申し上げます。

③ 10 月は米山月間です。皆様のラックに『ロータリー米山記念奨学事業 』2017-2018 年度版 豆辞典』を入れさせて頂いております。お目通しいただきますよう 宜しくお願いいたします。

④ ロータリー米山記念奨学会からのお礼。（7月発行のハイライトよねやま掲載）
財団設立50 周年を記念したフォーラムと祝賀会(2018年2月4日)開催つき、たくさんのお申込みを頂き、誠に有難うございました。おかげさまで満席となりましたので、申込受付を終了させて頂きます。

⑤ 10 月 12 日(木) 和歌山市内 9RC 会長･幹事会での「和歌山県知事・和歌山市長 表敬訪問」をいたします。和歌山市：10:30～、和歌山県：11:30～、鯨会長・幹事の宇治田が出席いたします。

⑥ 本日例会終了後、定例理事会を開催致します。役員･理事の皆様、宜しくお願い致します。

ニコニコ箱

小林 一三 会計

鯨君・岡本ガバナーようこそ。
宇治田君・岡本ガバナー、大山ガバナー補佐、今日よろしくお願いします。
神谷君・岡本ガバナー様 御苦労様です。
中曽君・ゲスト･ビジターの皆様 ようこそお越し下さいました。
配偶者お誕生日お祝い・山本君、西口君。

♪10月ご本人･配偶者お誕生日お祝い♬

国際ロータリー第2640地区ガバナー公式訪問　卓話　岡本 浩ガバナー

こんにちは。2017-2018年度ガバナーの岡本浩です。本日は公式訪問の機会を設定いただき、ありがとうございます。

さて、今年度ガバナーとして何を目指すかについて、述べさせていただきます。

先ず、今年のＲＩ会長テーマは、「変化をもたらす」です。これは、ロータリーの活動により、社会への良い変化をもたらす活動を追求しようということと解されます。また、そのような活動により、ロータリー自体も変化をする、さらにはロータリーの会員自身にも良い変化をもたらそうということだと解されます。

次に、当地区の指針は、「ロータリーの原点を再確認し、２６４０地区の新たな飛躍を」とさせていただいています。これは、ロータリーとは何かをしっかりと再確認し、その基盤の上に地区をしっかりと構成し、さらに飛躍を目指そうということです。そのためには、月信第１号に「地区の基本的構造と各個の役割」として図示したような地区の有り方を追求することが大切です。そして、この図の中では、月信を地区・ガバナーと会員を結ぶ血管・血流と捉えていますが、紙媒体で配布される月信を地区情報を会員に伝える手段として重視していきたいと考えています。

それでは、このような地区組織の上に立って、目指すべきロータリー、言いかえればロータリーの原点とは何かについてを述べてみます。

それは、４つのテストに示される倫理・行動基準に則った職業奉仕の理念を追求する職業人の集まりがロータリークラブであり、そのような個々人が例会に集うことで互いに刺激し合い学び合う場である例会を会員に提供することこそ、ロータリーの原点だということだと思います。したがって、ロータリーは、大人の学校と言えます。そして、学校であるロータリーへ皆が集うには、ロータリーは楽しく友情が育つ場である必要があります。

なお、職業奉仕とは何かを一言で言うなら、個々人の職域において、４つのテストに示される倫理を貫いた職業活動を行ない、その職業領域において、一番に尊敬される職業人を目指すということだと思います。例会を通じての互いの人格的成長・向上と、職業を超えての友情と信頼の形成こそ、ロータリーの真髄と言えます。

何か一つ、どこか一つ、参加した会員の記憶に残るような充実した例会になるよう努力し、その積み重ねにより会員の向上を図っていくようなロータリー活動を作っていきましょう。

ロータリの友 10 月号　横組み　P17

「特集 ようこそ日本へ ―訪日客支援編―　Welcome to　Japan」
和歌山東南 RC ≪たま電車に４カ国語の図書を寄贈 ≫を掲載いただきました。

たま電車に４カ国語の図書を寄贈

和歌山東南ＲＣ　土屋　一博

子どもたちに人気の「たま電車」

「たま文庫」の充実を支援

ＪＲ和歌山駅と貴志駅を約 30 分で結ぶ和歌山電鐵（でんてつ）貴志川線は、地域特産のイチゴをモチーフにした「いちご電車」や真っ赤なボディーの「おもちゃ電車」といったユニークな電車を運行したり、三毛猫「たま」の貴志駅駅長就任による癒やし効果が話題になり、海外からの訪問者も増加していますが、経営は厳しい状況が続いています。

電車利用者を調査すると、近隣住民は言うまでもなく、外国人の観光客も多いことが分かります。たま駅長をモチーフにした「たま電車」内には、動物の本などを自由に閲覧できる「たま文庫」が設けられていますが、「図書の傷みがひどく、補修をしながら何とかしのいでいる」との話を聞きました。そこで、当クラブでは「文庫」を充実させる案を社会奉仕委員会に諮り、2015 年 9 月に創立 45 周年を記念して、計 5 駅にベンチを贈ったのに続いて支援することに決定。事業をより充実したものにするため、ロータリー財団の地区補助金を活用しました。

おもてなしを、外国人利用者にも

4 月 4 日の贈呈式典には、福井隆一郎ガバナー（当時）の参加を得て、計 350 冊の本を贈りました。図書の選別は、電車内の本棚の寸法に制約があって、少し苦労しました。猫などに関する本のほか、子どもたちが楽しめる本、普段利用している地域の皆さんも興味が持てる本など、幅広い分野から選びました。

また、海外からの来訪者が多いことにも目を向け、日本文化などを紹介する中国語、韓国語、英語の本を寄贈しました。今回の取り組みが、地域の足となる鉄道を支え乗客を楽しませ、外国人観光客にとっても思い出に残る、おもてなしにつながることを期待しています。

（第 2640 地区　和歌山県）

贈呈式には伊太祈曽駅
駅長見習いの「よんたま」
も出席して記念撮影

Welcome to Japan